

# 環境経営レポート

【 運用期間:2023年 4月1日~2024年 3月31日 】



発行：2024年 8月 27日

株式会社タケエイメタル

## 目 次

1. 事業概要	・・・	1
2. 実施体制・範囲	・・・	4
3. 産業廃棄物処理フロー	・・・	5
4. 環境経営方針	・・・	6
5. 環境目標と実績	・・・	7
6. 環境活動計画	・・・	10
7. 評価及び対策	・・・	11
8. 環境関連法規等の遵守状況	・・・	12
9. 教育・訓練の実施	・・・	13
10. 環境上の緊急事態への準備及び対応	・・・	14
11. 環境コミュニケーションの実施	・・・	15
12. 代表者による総合評価と見直し	・・・	16

# 1. 事業概要

## 1、事業所名及び代表者名

株式会社タケエイメタル  
代表取締役 戎谷 義孝

## 2、所在地

本社：静岡県静岡市葵区千代512-3

## 3、設立

昭和46年11月：金山商店設立  
平成10年12月：静岡市産業廃棄物処分業許可取得  
平成19年6月：現在地へ移転  
平成27年4月：株式会社タケエイメタルへ社名変更

## 3、環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者：取締役 盛 賢次郎  
EA-21活動事務局：管理部 山梨 洋子  
各部門担当者：管理部 大地 希望  
：事業部 増井 靖之  
：営業部 望月 康司  
連絡先 TEL:054-277-0202 FAX:054-277-0212

## 4、事業の内容

- ・金属スクラップのリサイクル
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・産業廃棄物処理業（中間処分ー破碎・圧縮・切断）

## 5、事業の規模（事業年度:当年4月～翌年3月）

	年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
資本金（万円）		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
売上高（百万円）		831	409	655	594	523
金属スクラップ出荷総量（t）		27,735	6,680	7,449	6,212	5,442
廃棄物 処理実績	廃棄物収集運搬量（t）	466	1,120	986	825	744
	廃棄物処分量（t）	965	1,747	1,440	1,288	1,648
	廃棄物リサイクル量（t）	456	1,144	1,004	1,002	855
	静岡市委託（廃プラ）（t）					4.3
従業員数（名）		20	18	17	18	18
延床面積（m <sup>2</sup> ）		13,178	13,178	13,178	13,178	13,178

6、保有許可

種別	許可番号	許可期限
金属くず商（静岡県）	第203号	昭和51年12月3日（期限なし）
古物商（静岡県）	第491140001449号	昭和51年12月3日（期限なし）
静岡市産業廃棄物処分業（中間処理）	第06221047251号	R6.12.10～R11.12.9
静岡県産業廃棄物収集運搬業	第02201047251号	R4.6.6～R9.6.5
愛知県産業廃棄物収集運搬業	第02300047251号	R1.10.24～R6.9.23
神奈川県産業廃棄物収集運搬業	第01400047251号	R6.3.26～R11.2.4
東京都産業廃棄物収集運搬業	第13-00-047251号	R6.3.14～R11.3.13
千葉県産業廃棄物収集運搬業	第01200047251号	R2.4.1～R7.3.31
埼玉県産業廃棄物収集運搬業	第01100047251号	R2.1.8～R6.12.18
長野県産業廃棄物収集運搬業	第2009047251号	R2.9.28～R7.9.27
山梨県産業廃棄物収集運搬業	第01900047251号	R3.2.19～R8.2.18
茨城県産業廃棄物収集運搬業	第00801047251号	R4.12.5～R9.9.11
群馬県産業廃棄物収集運搬業	第01000047251号	R5.2.28～R10.2.27
栃木県産業廃棄物収集運搬業	第00900047251号	R5.1.9～R10.1.8
自動車リサイクル引取業（静岡市）	第20621000106号	R4.10.5～R9.10.4
自動車リサイクル解体業（静岡市）	第20623000106号	R6.7.1～R11.6.30
自動車リサイクル破砕業（静岡市）	第20626000106号	R6.7.1～R11.6.30
フロン類回収業（静岡市）	第20622000106号	R4.10.9～R9.10.8
第一種フロン類回収業（静岡県）	静岡101414	R4.10.10～R9.10.9

6、保有設備

設備名称	品目	処理量
破砕施設 TH-500型シュレツダ (一軸回転ハンマー式せん断破砕)	廃プラスチック類	99.04t/日
	木くず	154.88/日
	金属くず	112.80t/日
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	193.60t/日
切断施設 800AK型ギロチンプレス機 (圧縮せん断)	がれき類	416.96t/日
	廃プラスチック類	61.04t/日
	金属くず	69.28t/日
圧縮施設 50PALスクラッププレス機 (三方締め圧縮)	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	76.00t/日
	廃プラスチック類	25.92t/日
	金属くず	130.80t/日
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	44.72t/日

保有車両

車体の形状	自動車登録番号	最大積載量	備考
脱着装置付コンテナ専用車	静岡 100 す 2617	3,900kg	
脱着装置付コンテナ専用車	静岡 100 は 2806	11,000kg	
セミトレーラ	静岡 100 は 2820	51,500kg	
ダンプトレーラ	静岡 100 は 4089	51,500kg	
脱着装置付コンテナ専用車	静岡 100 は 3006	10,500kg	平成27年度燃費基準5%向上達成車
キャブオーバー	静岡 100 は 3015	10,600kg	
脱着装置付コンテナ専用車	静岡 100 せ 8319	3,750kg	
脱着装置付コンテナ専用車	静岡 100 は 3281	10,700kg	平成27年度燃費基準5%向上達成車
脱着装置付コンテナ専用車	静岡 100 は 3368	10,900kg	平成27年度燃費基準5%向上達成車
脱着装置付コンテナ専用車	静岡 100 は 3585	10,900kg	平成27年度燃費基準5%向上達成車
キャブオーバー	静岡 100 は 3692	7,900kg	平成27年度燃費基準5%向上達成車

保有重機

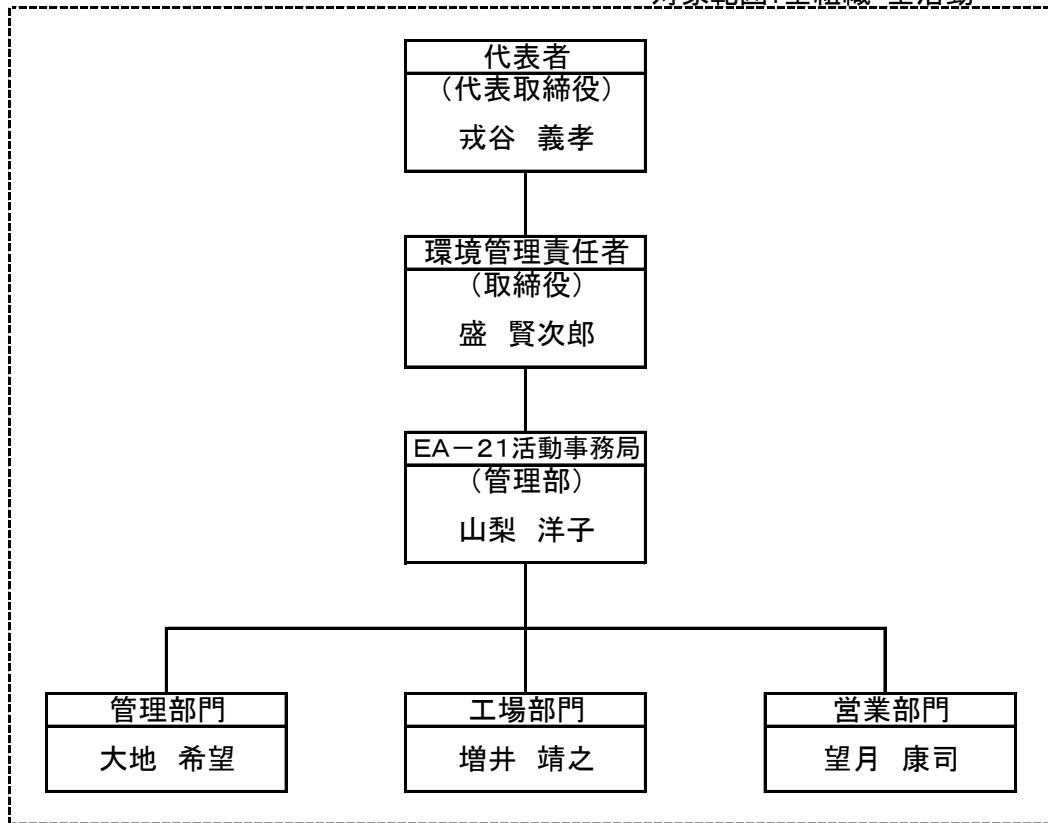
機種	形式	仕様
ユンボ	ZX240LCMH-5B	0.9m <sup>3</sup> アイアンフォーク
マグフォーク	SK210DLC-9	0.7m <sup>3</sup> マグフォーク
マグフォーク	SH200-CL7	0.7m <sup>3</sup> マグフォーク
ユンボ	SH200-5	0.7m <sup>3</sup> 小割
ホイールローダー	ZV65	シヨバルローダー
ユンボ	CAT313GC	0.4m <sup>3</sup> アイアンフォーク
フォークリフト	02-8FD30	3.0t回転フォーク
フォークリフト	7FD25	2.5t長爪フォーク
フォークリフト	02-8FDK30	3.0tバケットフォーク

7、取扱う廃棄物の種類

処分業	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず、がれき類
収集運搬業	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず、がれき類、廃油、紙くず、繊維くず

## 2. 実施体制・範囲

対象範囲:全組織・全活動



### <環境管理組織における機能>

#### 代表者

- ①環境経営全般に対する責任と指示
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築

#### 環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

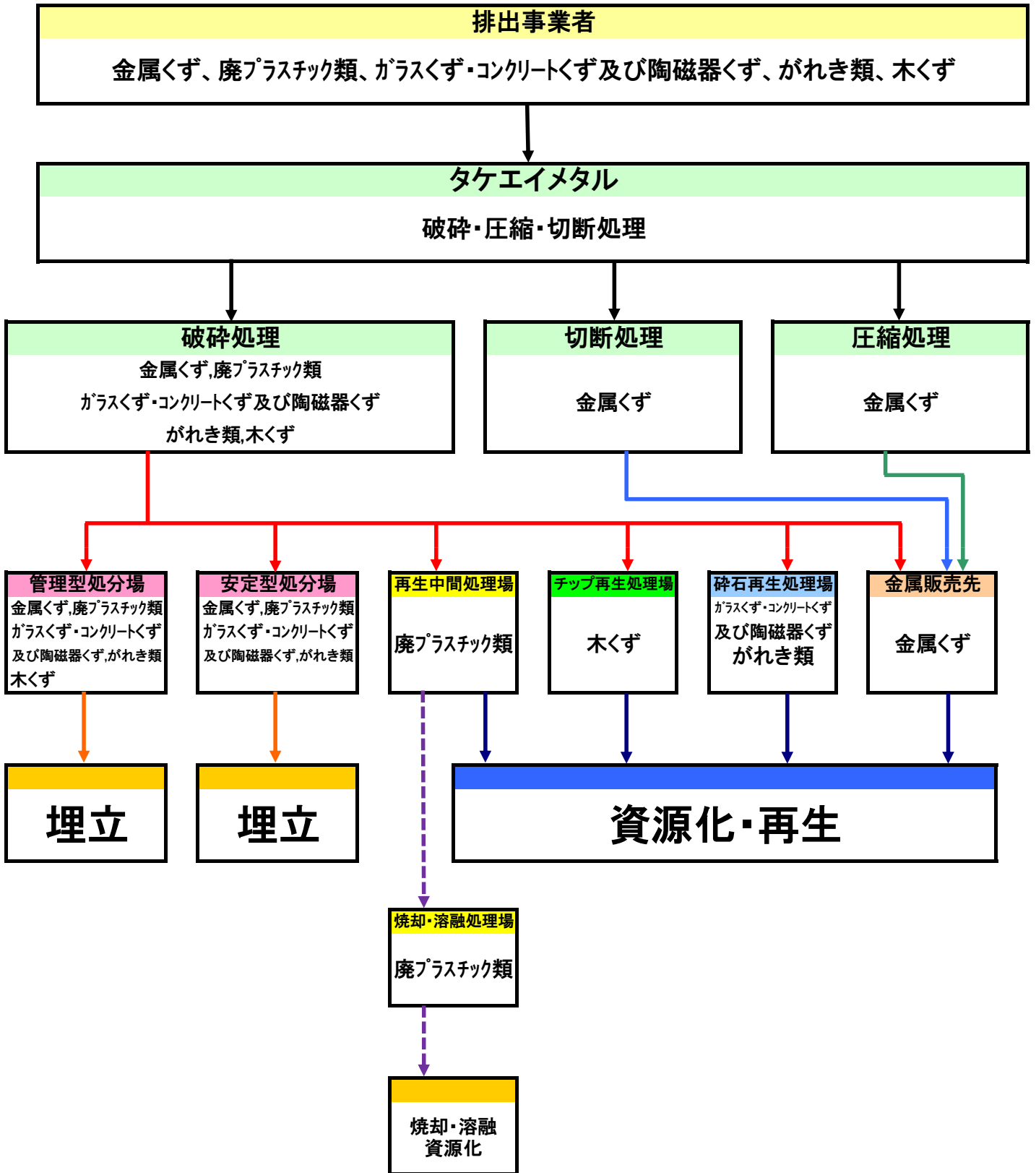
- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④法規制最新版管理
- ⑤文書・記録の管理
- ⑥各部門の活動状況の管理

#### 各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③推進会議の出席
- ④問題点の把握と是正の実施
- ⑤次期環境課題への取組み
- ⑥従業員教育

### 3. 産業廃棄物処理フロー

(株)タケエイメタル



## 4. 環境経営方針の策定

### 「株式会社タケエイメタル環境方針」

当社は、金属をはじめとするマテリアルリサイクル業者であり、環境事業に関わる企業として重要な役割を担っていることを認識し、地球環境の保全と環境負荷の低減に向け、企業と社会がともに持続可能な未来を実現すべく以下の通り環境方針を定める。

#### 1. 高度循環型社会の実現に貢献する。

当社が保有する金属スクラップリサイクル技術や産業廃棄物処理技術の向上を図る。  
また、グループ間の連携や他社との協業により、スクラップや廃棄物の再資源化、製品化及び適正処理を促進させる。

#### 2. 脱炭素社会の実現を目指す。

事業活動に於ける省エネルギーの徹底に加えて、公害防止対策に積極的に取り組み、事業活動に伴う環境負荷を最小限にし、脱炭素社会の実現を目指す。

#### 3. 地域や社会に根ざした環境活動を推進する。

「総合環境企業」の一員として、事業活動における環境汚染の予防に取り組むことで、地域や社会の生活環境保全に努める。さらに環境に関するコミュニケーションを積極的に実施する。

#### 4. 環境活動の推進体制を充実する。

環境法規制等の要求事項を遵守するとともに、役職員自らが環境問題を考えながら継続的に環境活動に取り組む。

これらを実行、実現するため、環境マネジメントシステムを定期的に見直し、継続的に改善する。

制定 2015年 7月 5日  
改定 2018年 1月 5日  
改定 2021年 8月 18日  
改定 2024年 3月 31日

株式会社 タケエイメタル  
代表取締役社長 戎谷 義孝



## 5. 環境目標と実績

### 中期環境目標

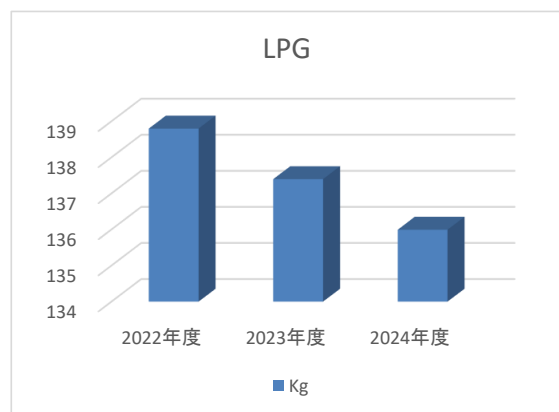
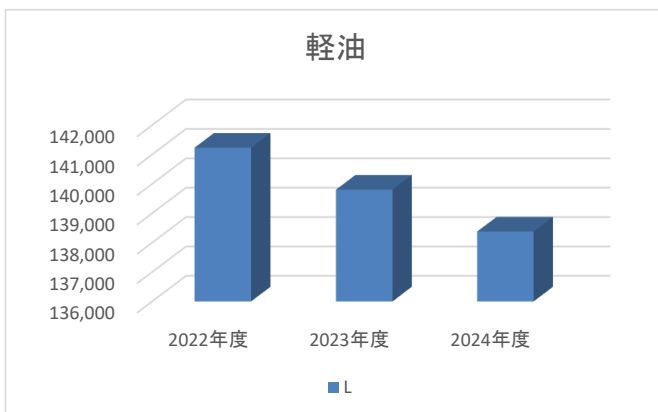
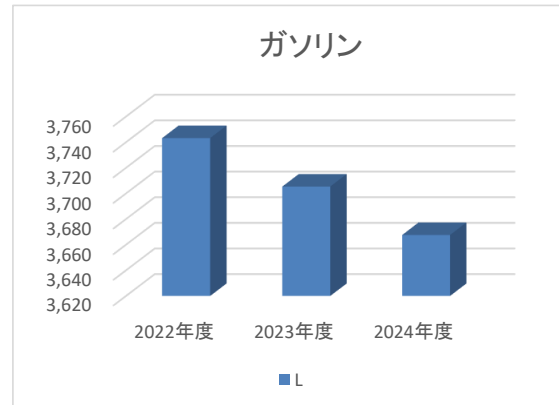
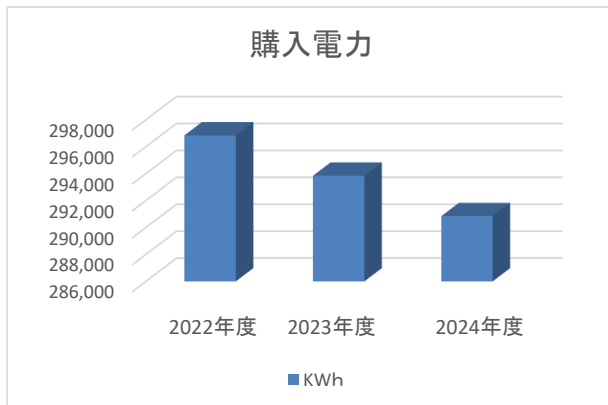
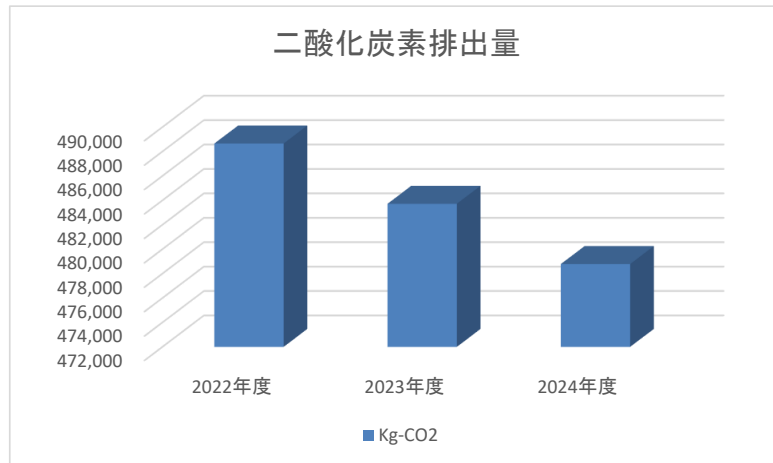
項目		単位	基準年度 (2020~2021年度)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素		Kg-CO2	100% 493,591	-1% 488,655	-2% 483,719	-3% 478,783
内訳	購入電力	KWh	100% 299,844	-1% 296,846	-2% 293,847	-3% 290,849
	ガソリン	L	100% 3,781	-1% 3,743	-2% 3,705	-3% 3,668
	軽油	L	100% 142,659	-1% 141,232	-2% 139,805	-3% 138,379
	LPG	Kg	100% 140	-1% 139	-2% 137	-3% 136
産業廃棄物(有価物由来含む)量		t	100% 1,269	-1% 1,256	-2% 1,244	-3% 1,231
水使用量		m <sup>3</sup>	100% 926	-1% 917	-2% 907	-3% 898
事務用品のグリーン購入		%	29%	30%	31%	32%
産業廃棄物(有価物由来含む)量+金属スクラップ量あたりの二酸化炭素排出量		Kg-CO2/t	100% 59.6	-1% 59.00	-2% 58.41	-3% 57.81

### 環境活動実績

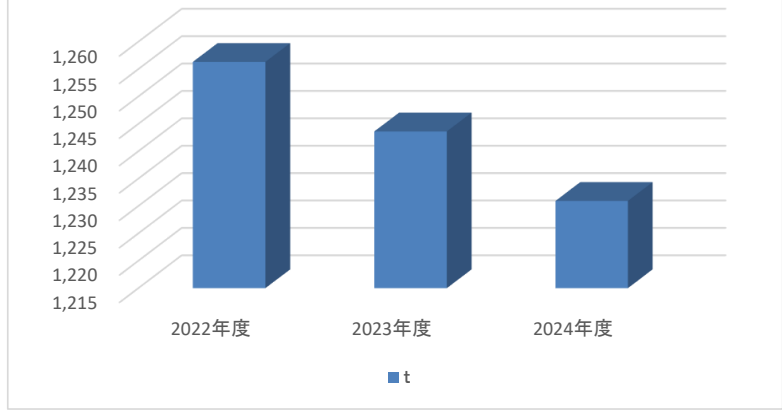
項目		単位	基準年度 (2020~2021年度)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量		Kg-CO2	493,591	512,039	452,279	
内訳	購入電力	KWh	299,844	266,057	198,057	
	ガソリン	L	3,781	2,270	2,867	
	軽油	L	142,659	156,365	142,912	
	LPG	Kg	140	40	23	
産業廃棄物(有価物由来)		t	1,269	1,416	793	
水使用量		m <sup>3</sup>	926	1,295	824	
事務用品のグリーン購入		%	29%	33%	33%	
産業廃棄物(有価物由来含む)量+金属スクラップ量あたりの二酸化炭素排出量		Kg-CO2/t	59.6	74.7	72.5	

電力1kwh当りのCO<sup>2</sup>排出係数0.388kg-CO<sup>2</sup>/kwh

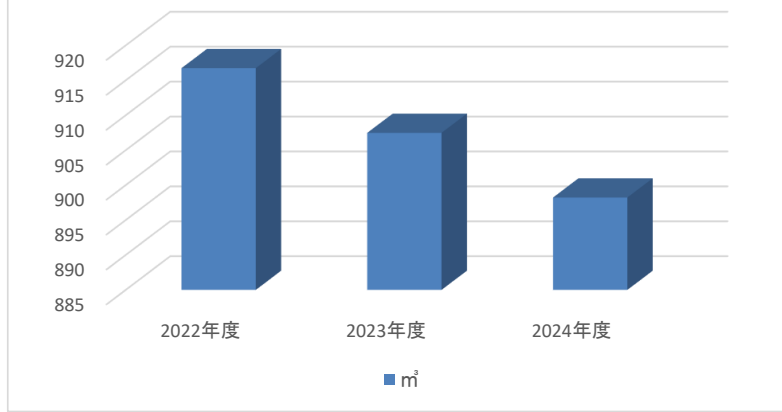
## 環境活動目標(3年間の推移)のグラフ



### 産業廃棄物量



### 水使用量



## 6. 環境活動計画

目的	区分	項目	担当	活動項目	評価		次年度の取組
					2023年度	内容	内容
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	山梨	①消灯の徹底	○	徹底されている	継続実施
				②人感センサーの導入	△	事務所トイレに採用	継続実施
				③ブルスイッチ化	△	事務所内一部導入	継続実施
				④高効率照明機器の導入	○	電球をLED化	継続実施
				⑤勤務時間の短縮	○	各部で管理されている	継続実施
		空調	山梨	①温度設定適温体制の周知	○	表示、朝礼時説明	継続実施
				②クールビズ、ウォームビズ推奨	○	作業服の変更	継続実施
				③空調機フィルター定期清掃	○	年一度実施	継続実施
				④使用していない空調停止	○	徹底されている	継続実施
				⑤遮光対策	○	遮熱フィルム装着	継続実施
	設備 その他	増井	⑥新規空調設備への代替え、及び導入	○	導入済み	継続実施	
			⑦エアコンの吹出し口にファンの取付	○	装備済み	継続実施	
			①停止時メイン電源OFF	○	徹底されている	継続実施	
			②デマンド計有効活用	○	徹底されている	継続実施	
			③自動販売機の省エネ対策	○	装備済み	継続実施	
	ガソリン・軽油	乗用車 トラック 重機	増井 望月	④冷蔵庫の保冷対策	○	不要物撤去、効率アップ	継続実施
				⑤シュレッダー稼働の時間短縮	○	効率的な運用	継続実施
				⑥重機の稼働時間短縮	○	効率的な運用	継続実施
				①エコドライブ	○	デジタコ全車両導入	継続実施
				②消耗品使用量抑制	○	タイヤ定期点検	継続実施
③日常・定期点検の実施				○	日次点検表活用	継続実施	
④省エネ車の導入				○	平成31年度燃費基準5%向上達成車購入	継続実施	
LPG	湯沸器	大地	⑤排ガス対応車の導入	○	重機への導入検討	継続実施	
			⑥トラック往復運行の積極的実施	○	行帰りに共に運搬をする	継続実施	
廃棄物のリサイクル	事務所	大地 鈴木 河合	⑦渋滞、事故等の情報収集	○	状況に応じて運行	運転手同士の情報共有	
			①使用時間規制	○	使用制限	月使用量のチェックを継続	
			①コピー用紙の無駄利用削減	○	裏紙使用	両面も多用する	
			②集約化購買	○	徹底されている	事務用品を1社にて管理	
			③FAXのPDF化、メールへの転用	○	顧客先へもメール活用	継続実施	
			④3Rの実践	△	抑制が難しい	抑制を推進する	
			⑤廃棄物の分別とリサイクル	○	故紙、段ボールを積極リサイクル	継続実施	
			⑥自販機アル缶・スチール缶・PETの分別	○	分別箱を設置	継続実施	
			⑦運行予定表のメール送信	○	早期予定確認、紙使用減	継続実施	
	⑧従業員の家庭発生金属の持込	○	リサイクル意識の向上	継続実施			
	⑨町内会と共同で家庭内鉄廃棄物の収集	○	地域住民の意識向上	継続実施			
	工場 運搬	増井 望月	①金属リサイクルの為の分別化	○	徹底されている	継続実施	
			②廃棄物のリサイクル率を上げる	△	分選別強化	継続実施	
③分別ルートの新規開拓			○	処分場の変更	リサイクル業界動向確認、検討		
④電子 manifests の導入			○	e-リハースの導入、活用	取引時、顧客へ確認徹底		
⑤場内の整理整頓			○	無駄な消耗品購入の減少	継続実施		
節水	上水	山梨	②屋外ホースのストップガン取り付け	○	装着されている	継続実施	
			③月ごとの水使用量管理	○	確認されているが喚起乏しい	朝礼時説明	
			①節水表示	△	表示あるが喚起乏しい	貼り換えを検討、朝礼時説明	
グリーン購入	事務用品	山梨	②物品のまとめての購入	○	送料の削減ができた	継続実施	
			①環境ラベル登録品の購入	×	されていない	検討中	
	用具・器具	増井 望月	①環境ラベル対応品の購入	○	購入時の意識が改善した	購入履歴参考に見直し	
			②月次レベルでの金額チェック	○	月次でチェックされている	グリーン購入も把握する	
環境 保全 活動	工場	増井	②小さい容器～大きな容器へ	○	洗剤を大箱にて購入	継続実施	
			①粉塵の抑制	○	適時散水	継続実施	
	周辺 環境	増井	②防音壁の毎日の見回り	○	防音壁の破損チェック	継続実施	
			①毎日工場周辺の美化活動(ゴミ拾い)	○	毎朝当番を決め清掃	継続実施	
			②町内会と共同で定期的周辺美化活動	△	共同では実地していない	継続実施	
産廃の収運、処分 における 環境配慮	工場	増井	③事務所入口付近の毎朝アルコール除菌	○	感染のストップ	継続実施	
			④工場周辺の自主的な草刈り作業	○	随時実地	継続実施	
			①車両の洗車	○	適時	継続実施	
			②社員の清潔な服装	○	常時	継続実施	
			③油水分離槽の点検と清掃	○	毎日の点検と年1回の清掃	継続実施	
④計量器の点検	○	週1回の点検	継続実施				
⑤自治会、部農会、漁協との協定遵守確認	○	常時監視	継続実施				

## 7.評価及び対策

### 運用期間目標とその実績

項目	単位	基準年度 (2020~2021年度)	2023年度目標	2023年度実績	評価	
					目標に対して	
二酸化炭素	Kg-CO2	493,591	483,719	452,279	○(-6.7%)	
内訳	購入電力	KWh	299,844	293,847	198,057	○(-5%)
	ガソリン	L	3,781	3,705	2,867	○(-22.6%)
	軽油	L	142,659	139,805	142,912	×(+2.2%)
	LPG	Kg	140.2	137.40	22.8	○(-73.4%)
産業廃棄物(有価物由来含む)量	t	1,269	1244	793	○(-36.2%)	
水使用量	m <sup>3</sup>	926	907	824	○(-9.3%)	
事務用品のグリーン購入	%	29%	31%	33%	×	
産業廃棄物(有価物由来含む)量+金属スクラップ量あたりの二酸化炭素排出量	Kg-CO2/t	59.6	59.0	72.5	×(+22.9%)	

取組項目	評価	対策	
二酸化炭素排出量	購入電力	目標に対して5%削減した。電力使用の主となる破碎機の稼働を計画的に実施した。事務所冷暖房設備も更新。	引き続き次年度も計画生産を実施し、使用電力をコントロールしていく。また、太陽光パネルの設置も検討する。
	ガソリン	営業車をハイブリッド車に切り替え徐々に成果を表す。また、エコモードでの運行を推奨し、移動手段に公共交通機関の移動も併用。	営業車両のECOドライブ励行と、公共交通機関の利用も推進。
	軽油	年度計画未達。主要顧客先が関東地方が多く、引き続き配車繰りで調整できる範囲で効率運行を実施する。	ドライブレコーダーを活用し、最短ルート探索、顧客オーダー調整し無駄な運行を削減していく。平行しアイドリングストップも励行していく。
	LPG	年度計画を約70%以上下回る実績を達成。節約管理が継続できた。	節約習慣を継続し、次年度も取り組む
産業廃棄物(有価物由来含む)量	年度計画未達。入荷物から有価プラ選別を強化したが産廃処分自体の搬入量が多く、目標達成に至らず。	引き続き、有価物の選別(非鉄・有価プラ・家電抜取り)を強化に取り組む。	
水使用量	年度計画達成。漏水管理も含め、使用水量を節制していた。	次年度も引き続き節水活動に取り組む。	
グリーン購入費	年度計画未達。購入品について十分な詮索ができなかった。	都度購入時に再度、グリーンラベルを検討していく。	
産業廃棄物(有価物由来含む)量+金属スクラップ量あたりの二酸化炭素排出量	産業廃棄物(有価物由来含む)量+360t増加(対前年比△27%) 金属スクラップ量前年より-769t減少(対前年比▲86%)	廃棄物の中から有価になるものの選別を強化し金属量を増加させるとともに営業活動に注力し金属商材の営業を強化していく	

## 8.環境関連法規等の遵守状況

### 1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者: 取締役 盛 賢次郎

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (静岡県産業廃棄物条例)	廃棄物排出事業所との委託契約	契約(書)の締結	2024/3/30
	マニフェストの管理	B2表、C2表、D票、E票の返却	2024/3/30
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	
	マニフェストの年間集計と行政への報告	6月30日までに提出	2024/3/30
	マニフェストの保管	5年間	2024/3/30
	投棄禁止	不法投棄を行わない	
	保管場所の適材確認	保管場所図面照合	
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	2024/3/30
	許可と許可証の更新	5年間	
騒音・振動規制法	特定施設の届出	該当なし	2024/3/30
	基準値の遵守	自主管理	
道路交通法	交通法規の遵守		2024/3/30
	点検の実施		
環境基本法	一般的な自主努力		2024/3/30
地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	2024/3/30
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等、有用な物の循環的な利用を促進	2024/3/30
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	2024/3/30
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	電子マニフェストの確認	2024/3/30
浄化槽法	保守点検の実施	3ヶ月に1度	2024/3/30
	清掃の実施	1年に1度	
	水質検査(11条)の実施	1年に1度	2024/3/30
消防法	貯水槽点検	火災警報機点検	2024/3/30
			2024/3/30
フロン排出抑制法 (フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第一種フロン類回収業務	CFC、HCFC、HFCの回収	2024/3/30
	自主点検の実施	3ヶ月に1回以上	
	有資格者点検	3年に1回以上	

### 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関や利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。



## 9.教育・訓練の実施

2023年7月1日～7月7日までの1週間全国安全週間に基づき活動を実施した。

労働衛生意識の向上を目的として、重機・フォークリフト・車両の安全確認及び点検、作業エリアの清掃や整理整頓、工場内の衛生パトロールの実施、工場周辺の清掃活動に取り組んだ。

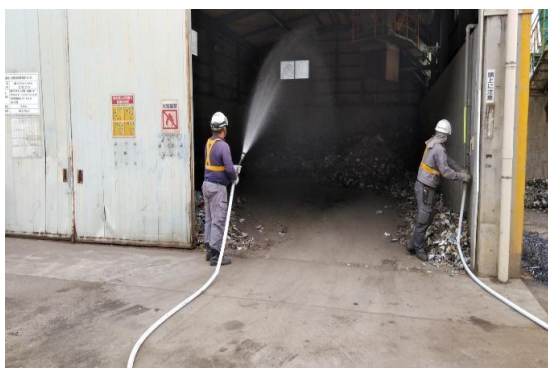




## 10.環境上の緊急事態への準備及び対応

緊急事態対応として、従業員や顧客など会社内で人が倒れた時にいつでも使用できるようにAED講習及び心肺蘇生法の勉強会を実施した。【2024年2月14日】

リチウムイオン電池混入による火災発生を想定し消火活動を実施。工場内の消火器及び消防栓の場所の確認・消火作業訓練を実施した。【2023年9月1日】





## 11.環境コミュニケーションの実施

地元、千代町内会と共同で各家庭から出るリサイクルできる鉄回収を実施。普段であれば安易に捨ててしまうものを、パンフレットなどの作成によりどのようなものがリサイクル出来るかを周知した上で千代公民館にタケエイメタルの回収箱を設置し回収を行った。

**千代自治会様【公民館前広場にて】  
金属リサイクルについてのご提案**

令和5年 7月1(土)・2(日) 金物回収事業を行います

**< 金属類の回収・リサイクル >**  
千代町内地域のみなさまのお手伝い致します！



**対象物をここに**

**金属製品に限る**  
調理器具（鍋・やかん・フライパン等）、洗濯機、スチールラック、ねじ・釘、ロッカー、自転車、バーベキュー鉄板、網、金属製バット、など

協賛 **タケエイメタル**



### 近隣清掃、草刈りの実施

毎年、夏と冬に行われる近隣住民との清掃活動がコロナにより中止。昨年度より開始した「工場周辺の清掃活動」を営業日は毎朝行い周辺住民とのコミュニケーションが活発になってきた。あと夏には工場周辺の草刈りを実施し、周辺の美化活動を積極的に行うようになった。



## 12.代表者による総合評価と見直し

当事業年度におきましては、ロシア・ウクライナ戦争の長期化と、不安定な中東情勢、中国不動産市況低迷の長期化により、世界経済は減速いたしました。

国内でも、中国などの海外経済減速による設備投資の減少、慢性的な人手不足や資源高により、建築工事の遅れや生産活動の停滞により、国内金属スクラップ発生量が減少、価格競争も激化するなど、外部環境は引き続き厳しい状況でした。

報告項目	管理責任者からの報告内容	社長判定
環境経営システム構築	資源価格の高騰など、インフレーションが進行、電気料金の上昇などの環境変化に応じて、エコアクション21は順調に活動を進めている 環境委員会の定例開催が定着化し、環境経営推進中である。	○
環境目標及びパフォーマンス	二酸化炭素排出量については四項目のうち、軽油を除き削減できた。 取り扱い量の減少による要因が大きかったが計画生産によるシュレッター稼働時間の調整による電力使用の抑制、LPGについては管理体制を強化し、削減効果が得られた。 出荷量が大きく減少した半面、軽油使用量の増加により、CO2量が高止まりしているため、出荷量当たりの二酸化炭素排出量は前年度より大幅増加した。 一方、静岡市の製品プラ分別回収業務を受託、廃プラ資源化への取り組みに積極的に参画し、地元にも貢献中。	○
環境関連法規制	静岡市廃棄物対策課の定期検査も指摘事項なく、その他の関係機関や利害関係者からの訴訟も過去3年間発生しておらず、法令の遵守も問題なかった。	○
外部からの苦情・要望	環境に係る苦情・要望等ない。	○
緊急事態の訓練	労働衛生週間に安全衛生活動・安全パトロールを実施。工場内の不要物の撤去も併せて進化した。同7月に災害時の飲料水、食料の保存期間、備蓄状況を確認済み。 定期的に火災を想定した避難訓練、消火訓練を実施。緊急対応の準備、訓練を実施できた。	○
環境コミュニケーション SDGs活動	地元、千代町内会と共同で各家庭から出るリサイクルできる鉄回収を実施。 近隣住民とのコミュニケーション充実を図るとともに、資源リサイクル活動に貢献中	○
前回社長からの指示事項	「事業所排出廃棄物量」の削減 外部環境の影響もあり取扱量が減少し、「事業所排出廃棄物量」も減少した。	○
社長からの指示事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 来年度も引き続き、二酸化炭素排出量削減に対する多くの項目で目標を達成できており、ベンチマーク(各種基準値、目標)を改めて策定し、削減に向けて取り組みたい。</li> <li>● 弊社の重要削減項目は「購入電力」と「ガソリン・軽油」である。 エコドライブや効率的な収集運搬に努めること。 また、太陽光自家発電設備の導入も検討し、消費電力の低減を工夫すること。</li> <li>● 災害や緊急事態への対応及び労働安全衛生強化ため、訓練・研修を励行すること。</li> </ul>	

### 変更の必要性

①環境方針	変更済み	高度循環型社会の実現に貢献することを誓約している
②環境目標	変更なし	二項目で目標未達成であり、引き続き活動継続方針
③環境活動計画	変更なし	継続実施方針
④推進体制	変更なし	現状の推進体制に問題ない。構成要員の補強・見直し等は検討

2024年7月7日  
株式会社タケエイメタル  
代表取締役 戎谷 義孝